

令和4年度学校評価実施計画

学校名 大分県立臼杵支援学校

前年度評価結果の概要	<p>○年間指導計画の系統性、教科横断的な指導計画の充実に向けて教科領域担当者会議を計5回実施。また、学部ごとに単元の振り返りを行う指導打ち合わせ会を毎月実施し、各教科の年間指導計画の作成ができた。学習指導要領の3つの観点の視点で計画・実践・評価できるように改善を行う。</p> <p>○ICT機器を活用した授業づくりを校内研究に位置づけ、GIGA構想推進委員会と連携して計画的に研究を進めたことにより全教員がICT機器を授業で使うことができた。ICT機器の活用について、一人一実践の取組をまとめ教員相互で情報共有することができた。今後は、学習内容の理解をより深めるためや児童生徒の困りを補うための活用方法について研究を継続する。</p>
------------	---

学校教育目標	中期目標	重点目標
自ら学び、たくましく柔軟な心と身体を養い、自己選択・自己決定により、個性豊かに生きる人間の育成	<p>○一貫性・系統性のある教育課程の編成と児童生徒が主体的に臨める授業改善に努める。</p> <p>○自己選択・自己決定のできるツールの活用に努める。</p> <p>○一人一人が生きやすく、生活しやすい教育環境の充実を図る。</p>	<p>(1)各学部が連携した一貫性のあるカリキュラムマネジメントの推進による授業力・指導力の向上</p> <p>(2)地域の教育資源を積極的に活用した学習活動の充実</p> <p>(3)児童生徒の指導や支援体制の充実に向けた働き方の改善</p>

PL:プロジェクトリーダー、SL:サブリーダー

重点目標	達成(成果)指標	重点的取組	取組指標	PL SL
(1)各学部が連携した一貫性のあるカリキュラムマネジメントの推進による授業力・指導力の向上	<p>○授業力・指導力の向上やICT機器を活用した指導実践についての教職員アンケートにおいて4段階評価で平均3.1以上</p> <p>○各教科の授業満足度やICT機器を活用した授業づくりについての保護者の満足度アンケートにおいて4段階評価で平均3.4以上</p> <p>○ICT機器を活用したことで、児童生徒の主体的な学習に関する目標が達成された児童生徒の割合 85%以上</p>	<p>○学習指導要領の3つの観点を踏まえた教科別年間指導計画の修正・見直し</p> <p>○児童生徒の主体的な学びを引き出すICT機器を活用した指導実践の充実</p> <p>○主体的に社会に参画するための人間関係形成力の育成</p>	<p>○3観点对応した計画・実践・評価を見直す年間指導計画担当者会(2回/月)の実施</p> <p>○学部ごとに単元振り返り会(1回/月)の実施</p> <p>○小グループに分かれた授業実践研究会(2回/月)の実施 ・授業構想(1学期)・授業実践(2学期)・実践を活かしたワークショップ(3学期)</p> <p>○将来の就労先や生活の場を想定し、他者と関わる際の具体的な方法を自立活動の「人間関係の形成、コミュニケーション、心理的な安定」の項目を主に整理(前期)、実践(後期)</p>	PL教務主任 SL学部主事・情報主任・研究主任・進路指導主任
(2)地域の教育資源を積極的に活用した学習活動の充実	<p>○地域の教育資源の活用についての教職員アンケートにおいて4段階評価で平均3.2以上</p> <p>○学校防災、地域産業や郷土を学ぶ学習、地域交流の授業についての保護者の満足度アンケートにおいて4段階評価で平均3.4以上</p> <p>○学校防災、地域産業や郷土を学ぶ学習、地域交流の授業で、児童生徒の主体的な学習に関する目標が達成された児童生徒の割合 85%以上</p>	<p>○学校安全・学校防災教育の推進</p> <p>○地域産業や郷土料理を学ぶ学習の充実</p> <p>○地域の方々との交流活動の推進</p>	<p>○災害時避難等の訓練(5回/年)、緊急時対応訓練(6回/年)の実施</p> <p>○研修を通して、全教員による危機管理マニュアルの見直し(8月)</p> <p>○専門的な知識や技術を有する方々との協働による味噌や郷土料理を作る授業の推進</p> <p>○「生活単元学習」「総合的な学習の時間」「総合的な探究の時間」への系統的な位置づけ</p> <p>○地域の小・中・高等学校との交流や共同学習の実施(各学部2回/年)</p> <p>○地域の方々から、おもちゃ作りや昔の遊びを学ぶ(1回/学期)</p> <p>○高齢者施設やこども園等での交流活動の実施(高等部2回/年)</p>	PL生徒指導主任 SL保健主任  PL主幹教諭 SL教務主任・学部主事  PL学部主事 SL教務主任
(3)児童生徒の指導や支援体制の充実に向けた働き方の改善	<p>○時間外勤務の月30時間未満の教職員の割合が93%以上</p> <p>○業務内容・働き方の改善に関する教職員アンケートにおいて4段階評価で平均3.0以上</p>	<p>○各種行事の精選や分掌業務・会議運営の効率化</p> <p>○勤務時間に係る教職員の意識改革の推進</p>	<p>○企画委員会(2回/月)や分掌会議(1回/月)の実施により、行事や研修、会議等の運営、分掌業務の見直し</p> <p>○ノー残業デー(水・金)の設定による定時退庁の推進</p> <p>○管理職やモデルリーダー(学部主事・分掌主任)の月30時間未満の時間外勤務の設定</p> <p>○有給休暇の計画的な取得推進</p>	PL教頭 SL主幹教諭・学部主事